



— 劇場が、街と世界をつなぐ —

円山川の美しい景色を臨む小さな劇場から、公演のお知らせやここだけの話題をお届けします。

最近のできごと

【たじま児童劇団 小学生の部】

活動最終日の『発表会』に向け、3月は全3回の活動が行われました。『とよとよシアター』ファイナルレポートです。

3/6日、1月の活動で子ども達が創作した3つの劇を、講師陣が台本に書き起しました。初めて読むみんなは嬉しそう。早速、台本を使ってチームで読み合わせ。その後、台本を持たまま動いて練習。積極的に取り組む姿勢が見られ、中にはセリフをも覚えようとしているメンバーも。なんと頼もしい！また、この日から芸術文化観光専門職大学の学生さん

もサポートに入ってくれました。一週間後は発表会本番！家でセリフを覚える・小道具を考えることを課題に、この日は解散です。

翌週3/12(土)、この日から朝～夕方と長時間の活動となります。みんなワクワクドキドキな表情で劇場にやってきました。しかし、どんな日もやはりまずはコレ！大人も本気のドッジボール!! 子ども達のドッジへかける思いが溢れ、何度か不正が見られました(笑)

体も温まったところで、稽古開始です。チームごとに講師の"ゆたっちょ"からチャレンジな演出がつかます。また、客席に届くような声の大きさや、体の動きも工夫します。稽古と並行して、段ボールを使った小道具作りも。

途中、お昼ご飯や休憩を挟んで、最後にチームごとに中間発表し、それを観た他のメンバーから感想をフィードバックしてもらいました。この時点でかなり面白い！きっとみんなならもっといける！それぞれの課題を胸に、明日の本番に臨みます。 右上へ続く▶



【たじま児童劇団 中高生の部】

3/21(月・祝)今期最後の活動日、久々に集うメンバー。2階スタジオに緊張の静けさが…(笑) そこで講師の田上豊によるアイスブレイクゲーム！一気に盛り上がりました。その後、これまで活動を振り返り一人ずつ1分スピーチ。メンバー全員が、本当に楽しい時間を過ごしたこと・自身の成長を実感したことなど伝えてくれました。次は4チームに分かれ、今後の活動でやってみたいことを話し合います。かなり愉快的なアイデアが続出。保護者の皆様からも一言ずつ頂戴し、スタジオが温かい空気に包まれました。最後にオリザさんから、この但馬の地でこの児童劇団をやっていく意義、今後の夢と展望が改めて語られ、全員が充実の笑顔で幕を閉じました。

3/13日、そして迎えた発表会本番！朝から早速、各チームごとに入れ替わりで劇場での稽古をしました。本番全体の流れやスタンバイや暗転・カーテンコールの練習など。昼食後、全体での最終稽古にあたるゲネプロを行います。

その後、子ども達が自らがお客様をロビーでお迎えし、さあ！いよいよ本番の幕が上がります…

ひな壇の客席から大勢のお客様に観られる経験、本格的な照明や音響を使用して、劇場で上演する喜びと緊張もあったはず。でも、どのチームの今までで最高の出来で、満場の拍手の中、全員が本当にやりきった表情をしていました！

本日をもって今年度『とよとよシアター』の活動は終了です。これまで応援してくださった皆さま本当にありがとうございました！ 未知との遭遇▶



劇場マメ知識

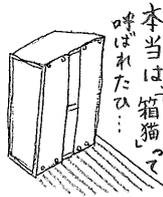
— 掛け替えのないあなたは、なぜ「馬」？ —

今回は、舞台で本当によく使われる「箱馬」をご紹介します。舞台の土台として床面の高さを調節したり、段を組んだり、と演劇には無くてはならない道具のひとつです。

大きさは、ふつう6寸×1尺×1尺または6寸×1尺×1尺7寸が定型サイズの、何の変哲もないただの四角い木箱。しかし、実はこの尺の違いミソで、置く面によって3種類の違う高さに組めるのです。先人達(過去の舞台美術家達)の知恵の結晶とも言える絶妙なサイズなんですね！

床面を下から「脚」や「馬」のように支える「箱」=「箱馬」というわけです。

歌舞伎や撮影現場などでも使われたり、また先日のとよとよシアター発表会では舞台セットとしても使われたりと、何ともマルチユースなやつです。



【劇団員の横顔】vol.6

劇団拠点が豊岡に移ってもうすぐ二年。移住した劇団員も少しずつ増えました。このコーナーでは、劇団員の知られざる(?)横顔を紹介をしていきます！

第6回目は、俳優の【知念 史麻】さん。独自の世界観で、時に突っ込みどころ満載な名言で場を和ませてください、少女のような聡明さを持った女優さんです。素敵な声で朗読のお仕事もされています。

☆ 趣味「散歩」



☆ ハマっているもの「色々なハーブティーのティーバック。その日の体や気分に応じてピピッときたのを選んで飲みます。」

☆ ひとこと「空が広くて、水も空気も美味しく、山も海も川もあって、四季折々ため息の出るような美しい景色をみせてくれる豊岡がとても好きです。」



えばらかはんげきじょう
江原河畔劇場

〒669-5311 豊岡市日高町日置65-10
電話：0796-42-1155 (受付時間10:00-16:00)
FAX：0796-42-1156 [公演期間中以外は日曜休館]

江原河畔劇場では、新型コロナウイルス感染症対策を講じてイベントを実施しております。ご理解とご協力をお願いいたします。